



平成20年11月14日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
代表取締役社長 山口浩行  
(コード番号:3390)  
問合せ先 経営企画部長 村上孝徳  
電話番号 03-3568-1305

### 継続企業の前提に関する注記に関するお知らせ

当社は、平成20年11月14日開催の取締役会において、当社の平成21年3月期第2四半期決算短信および平成20年11月14日提出予定の四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することにいたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

当社は、前々事業年度、前事業年度において営業損失、当期純損失を計上し、当第2四半期累計期間におきましても、営業損失155,950千円、四半期純損失140,070千円を計上いたしました。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前事業年度に引き続きマイナスになっている状況において、1年以内償還予定の社債200,000千円があり、今後のキャッシュ・フローに影響を与える可能性があります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社は、第3四半期以降につきましては、引き続きASPシステム受注において苦戦が予測されるものの、景気動向に左右されない介護システムの受注が順調な伸びを示しており、早期にASPシステム受注の期ずれによるマイナスをカバーすべく注力して参ります。また、株式会社光通信との業務提携効果も徐々に上がり始めており、第4四半期以降の業績に大きく寄与するものと考えております。さらに第4四半期には株式会社光通信と共同で携帯電話を活用した在宅介護向けソリューションである「Mobile Care Online」を市場に投入する予定です。

当社は、当該状況を解消すべく、以下の点に注力してまいります。

#### (1) 介護システム営業体制の強化

景気動向に左右されない介護システムについては第3四半期より受注が拡大しておりますが、ここに経営資源を集中させることによりさらなる受注増を目指します。このことにより月次の固定売上を増加させ、安定的な収益体質への転換に努めます。

具体的には平成20年10月末時点で、141施設が利用しておりますが、これを期末までに約500施設にまで増加させ、売上の向上を目指します。

(2) 在宅介護向け「Mobile Care Online」の市場投入

株式会社光通信と共同で準備を進めております、在宅介護向け携帯電話ソリューションである「Mobile Care Online」を第4四半期より市場投入する予定です。

当該ソリューションは株式会社光通信の携帯電話業界に対する見識、影響力と当社の介護業界に対するソリューション能力との相乗効果を持つ商品であり、市場投入後一定の売上を獲得できるものと考えております。

(3) 大口 ASP システムの早期受注確保

急速な景気減退により第2四半期に予定しておりました幾つかの大口 ASP システムを第3四半期以降に受注できる見込みであり、この早期受注確定に向けての施策を実施して参ります。

具体的には、単なるシステム提案に留まらず厳しい経営環境下にあるお客様にとって当社のシステムを採用する事によりコストダウンを図る事ができるような提案内容にブラッシュアップし、早期の受注確定による月次固定売上の増加を目指します。

(4) 新データセンターの転貸等を中心としたコスト削減

日本アイ・ビー・エム株式会社との業務提携により平成 18 年度に構築した新データセンターについては、当事業年度におきましても総額約 270,000 千円のコストが発生する予定ですが、この設備の一部及び空きスペースの転貸を進めております。

この事に加えて更なる販売管理費の削減を実施し、通年で約 100,000 千円のコスト削減を目標といたします。

(5) 社債償還資金の確保

取引金融機関と継続的な協議を行い、資金計画の策定を進めて参ります。

また、事業内容について見直しを行い、当社の将来のあるべき姿を見据えた事業構造を勘案し選択と集中による事業売却を検討いたします。さらに、保有株式の売却による資金化を進めて参ります。

これらの事により、社債償還資金の確保に努めます。

当第2四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような疑義の影響を第2四半期財務諸表には反映しておりません。

以上